

平成27年3月吉日

道場生、保護者の皆様

剛柔流空手道 同志館

館長交代のお知らせ

早春の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、同志館および各支部道場には格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、現館長である朴原玄は3月31日をもって館長を退任いたします。新館長には本部道場の三井喜美代師範が就任し、佐山道場の檜葉芳之師範は同志館を退館しますので、ご報告いたします。

今後とも、同志館の指導者一同、鋭意邁進してまいる所存でございます。どうぞ皆様のご協力とお力添えをよろしく願いいたします。

記

- 1、[新館長就任] 三井 喜美代
- 2、[副館長就任] 小森 美智代
- 3、[会長就任] 朴原 玄
- 4、[就任日] 平成27年4月1日
- 5、[その他] 同志館佐山道場の檜葉芳之師範は平成27年3月31日をもって同志館より独立し、道場名を「雙栗会さぐりかい」と改めて活動する

～挨拶：館長 朴原玄～

平成6年に同志館館長に就任し、約20年の月日を館長として過ごし、また同志館への入門から60年が経ちました。1月に75歳を迎え、同志館には新鮮な勢いが必要と感じ、若い指導者に託そうと、この時期に館長の交代をする結論になりました。今後は新館長のもと、師範方、ご父兄、道場生が一丸となって同志館を盛り立て、今まで以上に隆盛になりますよう、お力添えをお願いします。私もできる限りの助言と尽力をし、未永く同志館が皆様とともに歩んでいけるように努力していきます。新館長には変わりゆく空手界に対応しながら、空手の本筋を忘れずに指導にあたっていくことを望んでいます。

～挨拶：師範 三井喜美代～

わたくしは同志館に入門したのは4歳です。入門というよりも自然に道場に遊びに行っていたわけで、もの心ついたときには試合に出場していました。高校、大学と選手時代を過ごし、結婚後も空手を続けて来られたのは、まさに、館長のおかげであり、たくさんの先生方のご指導と、また道場生と保護者の皆様の厚い支援のおかげです。同志館は創立より66年の伝統がある名門道場です。その同志館館長として就任するということは、希望を胸に抱くとともに、重責を感じております。しかし、今後の日本、空手界には女性の輝く未来があります。わたくしも女性として生きてきた経験を活かし、館長からの教えを守り、誠心誠意取り組んでいきますので、皆様どうぞお力添えのほど、よろしく願いいたします。